



答弁中の中嶋町長

志免・須恵線の開通に向けてのまちづくり

企業進出に期待

問

須恵町のまちづくりの今後10年間の方向性を示す「第5次須恵町総合計画」が策定されました。本計画は、町民と行政が、共に手を携えてまちづくりを進めていく協働のまちづくりを基本理念として、町民が夢を持ち絆を大切に、住んでよかつたと思える須恵町を築いていくためのものです。そこで町長は、志免・須

恵線の開通に向けて、この地域をどの様にしていきたいか、思いをお聞かせ下さい。

答 中嶋町長

須恵スマートインターチェンジの直結道路として整備しております。志免・須恵線は平成25年7月に工事が完了し開通する予定です。

開通した場合の交通量は、6100台/日ほどで計画していましたが、若干増加する見込みです。



原野 敏彦 議員

また、周辺のみちづくりについては、誰のために、かということに基づいて考えています。高齢化が進む中、買い物難民をどう支えていくかというご質問



進出してきた企業

ですが、いわゆる大きなスーパーではなく日用品を買いやすい店舗が、徒歩で行ける距離に欲しいと思っておりますが、すでにドラッグストアの進出も決まっておりますので、食料品も扱われるようですので、非常に便利になるのではないかと思われます。スマートインター

チェンジもあり、企業にも注目をされています。

なお、希望としては、道路を挟んで高速道路側には企業に進出していただき、住宅地側には住宅をと思っておりますが、そちらについても企業が進出する可能性があります。

須恵町の自然は守られているのか

新しい取り組みを

問

須恵町では、平成5年に福岡都市圏内市町村の取り組みとして「須恵町空き缶等の散乱防止及びその再資源化の促進に関する条例」を制定し、当時は街頭啓発等を行い条例の実行に努められたと聞いています。

また「須恵町飼い犬・猫のふん害等の防止に関する条例」についてはどうでしょうか。飼い主のマナーの向上、並びにふん害等の防止に関する意識の高揚を図られているでしょうか。条例制定の存在すら周知されていないのではないかと思います。

答 中嶋町長

自然環境が守られているかについて、町として制度そのものは作っており、看板を立てたり啓発文を広報に掲載するなどしています。要は一人一人の道徳心に行きつくと思います。



松山 力弥 議員

マナーは日本人の美德でしたが、

一般質問のその後の成果は

徐々に

問

それが薄れてきている状況の中で、教育により根本的にやり直していかなければならないと思っております。

以前「職員のコミュニケーション能力の向上」、「行政区内の人との繋がりの希薄化」その一つとして「組合加入率低下」の質問をしました。その後、職員のコミュニケーション能力向上の研修や習慣的な取り組み、組合加入率低下問題で、町は町のできる役割として、自主的に何か行動は起こされたのでしょうか。

答 今泉総務課長

コミュニケーション能力の向上については、各課長より職員の指導を促しています。今後も、職場内・職場外研修を実施し、町民のために働きたいという意欲のある職員を育成したいと思います。

組合加入率の低下については、転入者に同意いただいた場合に限り、転入情報を区長さんにお知らせする取り組みを10月から始めました。



路面看板